

京都府高等学校体育連盟総務部

委員長 小角 真治

京都府立木津高等学校

《総括》

総務部委員長の小角です。今年度は、杉本憲一（田辺高校・校長）部長の下、10名の委員が3事業（調査研究事業、普及広報事業、競技力向上事業）を担当し、事務局と協力しながら本連盟の円滑な運営と体育・スポーツの振興に取り組んできました。

平成26年度全国高等学校総合体育大会は、「煌（きら）めく青春南関東総体2014」として1都3県（東京、千葉、神奈川、山梨）において開催されました。団体が優勝2を含む入賞21、個人で優勝12を含む77の入賞がありました。

その他の高等学校全国大会では、団体では入賞が2、個人では優勝4を含む22の入賞がありました。

また、全国高等学校定時制通信制体育大会では団体が2の入賞、個人では4の入賞がありました。

また、長崎県で開催された「長崎がんばらんば国体」では少年種目で優勝4を含む52の入賞があり、府民の方々の期待に応えられたのではないかと思います。

競技力向上事業については、13専門部が中高接続事業として中学生と高校生とのゲーム練習、スキルアップ講習会、体験教室などを開催されました。中学で親しんだスポーツを高校でも継続できるよう、また興味ある種目が広がるよう中高連携を密接に行いたいと考えています。

調査研究事業については、運動活動指導者研修会において187名の参加者のもと「こころとからだをつなぐこと」と題してびわこ成蹊スポーツ大学教授豊田則成氏に講演いただきました。また、中体連からソフトボール専門部委員長見原潔先生が「ソフトボール専門部の取組」、高体連から東山高等学校卓球部宮木操先生が「高体連実践報告」をテーマに貴重な発表をしていただきました。

普及広報事業については、一般生徒対象事業として4の観戦型の事業を実施しました。参加生徒を増やすことはできませんでしたが、運動部活動加入生以外の生徒に対する事業であり、京都府高体連が自負する事業でもあります。今後も工夫を凝らしながら継続していきたいと考えています。高体連新聞では加入実態調査結果や京都府が誇る高校トップアスリートへのインタビュー形式を用いた記事を掲載するなど、高校生がスポーツを身近に感じることができるよう工夫をしました。

本年度の活動に関しまして御理解、御協力をいただきました各専門部、関係の先生方に厚くお礼申し上げます。

また、平成27年度につきましては全国高校総体6競技が京都府で開催されます。当該専門部のみならず、すべての専門部が協力体制で成功に向け取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

1 総務部会の開催

[第1回]

期日：平成26年4月22日（火）

場所：ルビノ京都堀川「松」

- 内容：(1)平成26年度総務部について
(2)京都府高等学校体育連盟規約の改正について
(3)平成25年度収支決算について
(4)平成26年度事業計画について
(5)平成26年度収支予算について
(6)京都府高等学校総合体育大会について
(7)その他

[第2回]

期日：平成26年7月1日（火）

場所：京都府公館「第5会議室」

- 内容：(1)全国大会について
(2)全国高校総体等京都府選手団結団式について
(3)各担当事業について
(4)京都府高校総体結果及び表彰について
(5)近畿邸通大会について
(6)その他

[第3回]

期日：平成26年11月10日（月）

場所：ルビノ京都堀川「朱雀」

- 内容：(1)運動部活動指導者研修会について
(2)各事業進捗状況と次年度の課題について
(3)平成27年全国高校総体近畿ブロック大会について
(4)新規加盟について
(5)その他

[第4回]

期日：平成27年1月20日（火）

場所：ルビノ京都堀川「朱雀」

- 内容：(1)平成26年度事業実施状況について
(2)平成26年度会計中間報告について
(3)平成27年度事業計画について
(4)平成27年度予算編成について
(5)その他

[第5回]

期日：平成27年2月24日（火）

場所：ルビノ京都堀川「梅」

- 内容：(1)平成25・26年度総括
(2)平成27年度課題
(3)その他

2 各事業

(1)調査研究事業

- 運動部活動指導者研究大会の開催
- 運動部活動実態調査の実施
- 全国高体連研究大会への参加

(2)普及広報事業

- 一般生徒対象事業の実施
- 高体連新聞第112号、113号、新入生歓迎号発行
- 高体連誌第54号の発刊

(3)競技力向上事業

- 中高接続事業の実施
- 全国高校総体等京都府選手団結団式の開催
- 全国高校総体・近畿定通大会の府本部役員業務
- 京都府中学校・高等学校体育連盟連携会議の開催